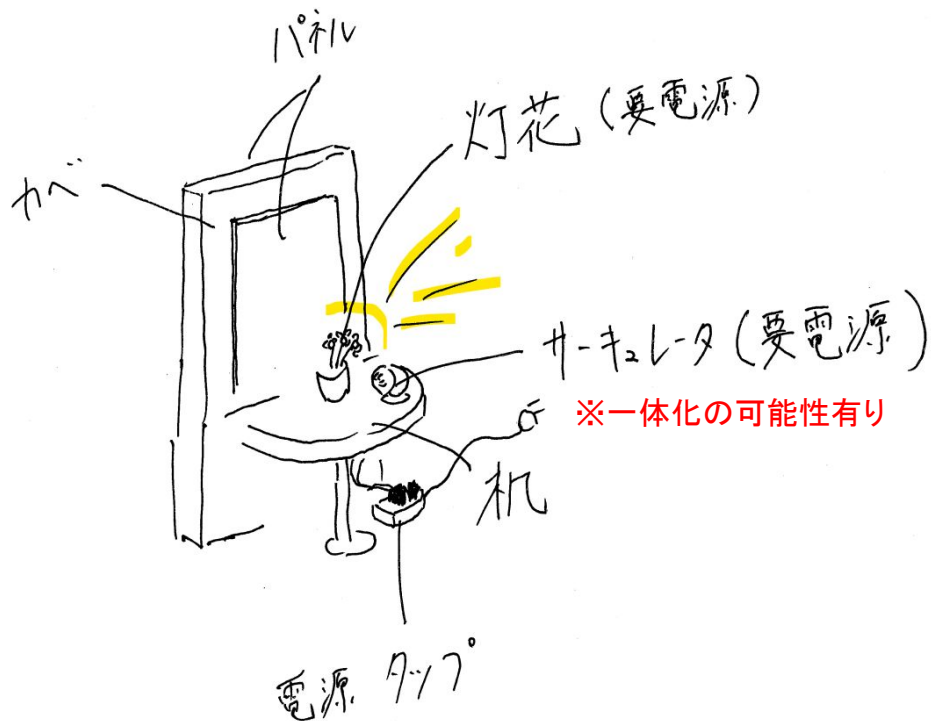


灯花(とうか)の展示プラン(予定)



展示ウォールに隣接した台を設置し灯花 (とうか)を展示。壁で外光を遮断します。

作品は鑑賞者からすこし見下ろした高さにする。

花瓶は透明なプラ製で、作品の光が周囲に拡散するようにします。

台の周囲には、作品からの光を反射させるために、白い布を敷きます。

これにより、作品の光が周囲に広がり、幻想的な雰囲気演出します。

(会場の雰囲気を見て詳細を変更する可能性大)

展示ウォールの裏表には、作品の制作過程等を紹介するパネルを設置。

展示ウォールの上部には、作品のタイトル「灯花」を表示。

タイトルの下には、作品の説明文を添える予定

豆電球の発熱対策として、作品の近くにサーキュレーターを設置。(灯火本体に内蔵する可能性あり)

サーキュレーターは、「灯花」を優しく揺らし、

まるで本物の花が風に揺れているような効果を生み出します。

同時に、豆電球の熱を冷ますことで、作品の安全性も確保します。

(輝度調整は可能なため そもそもの発熱も抑えて展示します)